

外来植物を見つけたら

喜界島にどのような外来植物が侵入しているのか、侵入している場合は島の中でどのような分布をしているのかなど、外来植物の生育状況について分かっていないことが、たくさんあります。地域にお住まいのみなさんに、島の自然について情報をいただくことにより、これらの状況を把握していきたいと考えています。外来植物を発見された場合は、ぜひ情報をお知らせください。

- ① 種名:種の判別のためにも、できれば写真を撮影してください
- ② 発見場所:地図にできる範囲で位置を示してください (GPS情報があればさらにいいです)
- ③ 発見情報:年月日など

外来植物の情報は、以下の機関へご連絡ください。

環境省 奄美群島国立公園管理事務所

〒894-3104

鹿児島県大島郡大和村思勝字腰ノ畠551

TEL 0997-55-8620 FAX 0997-55-8621

喜界町役場 企画観光課

〒891-6292

鹿児島県大島郡喜界町大字湾1746

TEL 0997-65-1111 FAX 0997-65-4316

NPO法人喜界島サンゴ礁科学研究所

サンゴ礁の環境を再現した水槽・展示をご覧になれるサンゴミュージアムを併設しています。



〒891-6151
鹿児島県大島郡喜界町大字塩道1508
お問い合わせ ☎ 0997-66-0200
(ホームページ) <https://kikaireefs.org>

制作・協力:NPO法人喜界島サンゴ礁科学研究所

発行:環境省 沖縄奄美自然環境事務所 奄美群島国立公園管理事務所

2020年3月発行

写真は全て©喜界島サンゴ礁科学研究所

喜界島 サンゴ礁科学研究所
KIKAI institute for Coral Reef Sciences

き かい じま 喜界島の 国立公園でしらべた!

もともと
住んでいる
希少な植物たち



そこから
やってきた
外来植物と
海洋ゴミ



国立公園って どんな公園？

国立公園は、日本を代表するすぐ優れた自然の風景を守り
私たちの次の世代へ残していくために
国が指定し保護・管理しているところです。

どのくらいあるの？

2020年現在、日本国内に34か所あります。



荒木中里遊歩道周辺

階段状の隆起サンゴ礁が発達しています。海岸には昔からの植物が生育しており、喜界島特有の景観となっています。



トンビ岬周辺・志戸桶海岸

島の海岸を取り巻くサンゴ礁の岩場ができる景観と植生が特徴的です。

奄美群島国立公園

生命にぎわう亞熱帯のシマ ～森と海と島人のくらし～

2017年3月に、喜界島の一部があまみ奄美群島国立公園に指定されました。奄美群島国立公園は、亞熱帯の豊かな森や海の自然と、希少な固有の動植物による生態系、そして自然との関わりから生まれた島人の暮らしのがテーマです。



喜界島の国立公園

喜界島は、隆起サンゴ礁がつくる海岸の景観や、島の最高地点に広がる豊かな森林、サンゴの石垣などサンゴ礁の恵みを活かした文化的景観や一部の集落も国立公園の区域に含まれています。



百之台公園周辺

喜界島で最初に隆起した、島のはじまりの場所です。標高差200mの崖と海岸に広がる隆起サンゴ礁を観察できます。



阿伝、嘉鈍集落およびその周辺

風除けや高潮を防ぐためにサンゴの化石を利用した石垣が多くみられます。阿伝集落ではサンゴの石垣を守り続けています。

私たちと国立公園

喜界島に住む私たちが国立公園について知り、
考えることが国立公園の自然を守り、
次の世代へ残していくことにつながります。

喜界島サンゴ礁科学研究所と環境省は、喜界島の国立公園の
自然の様子を2017～2019年にわたり調査しました。



調査の結果、喜界島の国立公園には外からやってきたものが
入り込んでいることがわかりました。

もともと喜界島に
住んでいた希少な植物



外からやってきたもの

人が島の外から
持ち込んだ植物 島の外からやって
きた海洋ゴミ



この冊子では、もともと喜界島に住んでいた希少な植物と
外からやってきた植物(外来植物)、
海洋ゴミの現状 を皆さんへお伝えします。

海岸部に生育する 特徴的な植物たち

喜界島はサンゴ礁が隆起してできた島です。

隆起サンゴ礁に覆われた海岸に広がる植生は、
面積も広く特徴的な植物が生育する
貴重な地域になっています。



喜界島には植物を
守るルールがあります。

喜界町では、昭和48年6月に鹿児島県内で最も早く、
開発を制限し、海岸の植物を保護する「喜界町自然
保護条例」が作されました。保護植物の採掘・採取は
禁止されています。



採ったらダメ!

テッポウユリ(ユリ科)
学名: *Lilium longiflorum*

隆起サンゴ礁の上に生える
大型のユリです。春から
初夏にかけて咲く白く大
きな花は香りも良いこと
でも知られています。



テンノウメ (バラ科)

学名: *Osteomeles anthyllidifolia* var. *subrotunda*

隆起サンゴ礁の上にへばりつくようにして生える高さ10~20cmほどの常緑低木です。白い小さな花が咲き、盆栽として販売されています。



モクビヤッコウ (キク科)

学名: *Crossostephium chinense*

隆起サンゴ礁の上に生える常緑低木で高さ50cmほどになります。全体に白い毛で覆われており、冬には小さな黄色い花を咲かせます。喜界島でも数が少なくなっています。絶滅の危機にあります。



アダン (タコノキ科)

学名: *Pandanus odoratissimus*

樹木のように育つ单子葉植物で、海岸に多く生育しています。固い葉の縁にはとげがあり、雌株には黄赤色の実がなります。



ハリツルレマサキ (ニシキギ科)

学名: *Gymnosporia diversifolia*

隆起サンゴ礁の上に生える半つ�性の常緑低木です。茎は岩の上をはい、とげが生えています。白く小さい花が咲き、果実はハート型で赤く熟します。盆栽として販売されています。



モンパノキ (ムラサキ科)

学名: *Heliotropium foertherianum*

海岸の砂浜や隆起サンゴ礁の上に生える常緑低木です。葉の表裏には白い綿毛が生えていて銀色に見えます。樹の形も美しく庭木としても植えられています。



クサトベラ (クサトベラ科)

学名: *Scaevola taccada*

海岸の砂浜や隆起サンゴ礁の上に生え、ときに大群落をつくる高さ1~2mの常緑低木です。光沢のある柔らかい葉を茂らせています。



ミズガンピ (ミソハギ科)

学名: *Pemphis acidula*

隆起サンゴ礁の上に生える低木で、枝は隆起サンゴ礁を覆うように伸びます。白色の花は一年を通して咲いています。盆栽としてよく販売されています。



イソマツ (イソマツ科)

学名: *Limonium wrightii* var. *arbusculum*

隆起サンゴ礁の上に生える高さ10cmほどの小さな多年植物です。古い株は茎が黒く見えてマツのような形に見えるので、磯松という名前がついたと言われています。

喜界島に生育する固有植物

固有植物とは、特定の地域にしか生育していない植物の種類です。
喜界島でも、ここだけにしかいない植物を見ることができます。



ヒメタツナミソウ (シソ科)

学名: *Scutellaria kikai-insularis*

喜界島唯一の固有植物で、葉の長さは5~9mm、茎の下部は、はうように伸び、タツナミソウの仲間の中でも背が低い多年草です。白～淡い紫色の小さな花をつきます。2020年に種の保存法の国内希少野生動植物種に指定され、生育地を大切に守っていく必要がある喜界町の天然記念物です。

喜界島に生育する準絶滅危惧種

現時点での絶滅危険度は小さいですが、生育条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種を言います。



オキナワチドリ (ラン科)

学名: *Amitostigma lepidum*

隆起サンゴ礁の上に生える高さ10cmほどのラン。春先に淡い紫がかった紅色の花を咲かせます。日本に生息するランの仲間では最も海辺に生息すると言われています。喜界島では志戸桶海岸の他にも、川嶺の山の中にも生育しています。数が減っており、見守していく必要があります。

外来植物ってなに？

人の手により持ち込まれ、もともと生育していなかった地域に入り込んだ植物のことを言います。

反対に、もともと生育していた植物は在来植物と言います。

外来植物が与える影響



在来植物と生育する場所が競合することで、もともとその場所で成り立っていた生態系のバランスが壊れたり、その場所に生育していた在来植物が外来植物の影響で絶滅してしまう場合もあります。



外来植物が畑に入り増えてしまうと、農作物に影響が出る場合があります。毒を持った外来植物など、危険なものもあります。

！ 外来植物をほうっておいたら、どうなるでしょうか？

大切な地域の自然が失われ、
みなさん自身にも影響があるかもしれません。
喜界島で見かける外来植物をきっかけに考えてみましょう。

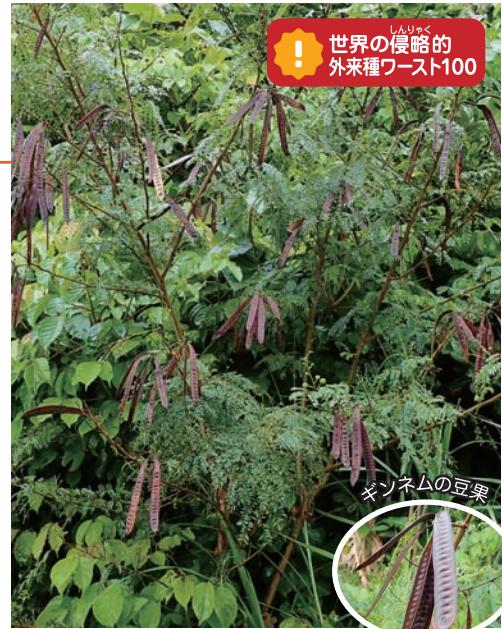


喜界島の国立公園で見かける外来植物

ギンネム (マメ科)

学名:*Leucaena leucocephala*
原産地:南アメリカ

高さ1~10mの常緑高木です。緑化・緑肥・砂防用などに植えられたもので、乾燥や塩分にも強いため、海岸近くや農耕地周辺で野生化しています。ほぼ一年中丸い形の白い小型の花を密につけます。豆果は長さ15cmほどになります。ギンネムが侵入した林では、他の植物が育たず植物の種類が少なくなってしまうことも報告されています。



世界の侵略的外来種ワースト100

ランタナ (クマツヅラ科)

学名:*Lantana camara*
原産地:南アメリカ

2~5mの半つる性の常緑高木です。茎や枝に下向きの小さな葉があります。日本には1865年ごろに鑑賞用に渡来し、野生化しています。在来植物と生育場所を競合する他に、葉や種子にランタニンという有毒成分を含みます。



世界の侵略的外来種ワースト100

アカギ (トウダイグサ科)

学名:*Bischofia javanica*

原産地:琉球列島～中国～東南アジア、オーストラリア、ポリネシアに分布

高さ25mに達する半常緑高木です。奄美では植えられたものが野生化したとされています。日陰にも強く、台風などで木が倒れると早く成長し、もともと生えていた樹木が成長できる空間を奪ってしまいます。喜界島の嘉鈍～浦原にかけての森林にも多く分布しており、島の生態系への影響が懸念されています。



日本の侵略的外来種ワースト100

国際自然保護連合が定めた「世界の侵略的外来種ワースト100」と、日本生態学会が定めた「日本の侵略的外来種ワースト100」は、外来種の中で特に生態系や人間活動への影響が大きい生物のリストです。

トクサバモクマオウ (モクマオウ科)

学名:*Casuarina equisetifolia*
原産地:オーストラリア

高さ7~10m、最大20mになる常緑高木です。葉は一見マツのように細いため、裸子植物のように見えますが被子植物です。防風、防潮林、および緑化対策で砂丘地帯にモクマオウが適応するとして、植えられました。増殖すると、景観の障害や落葉による在来植生への影響等が懸念されます。





ナピアグラス

(イネ科)

学名: *Pennisetum purpureum* Schum
原産地: 南アフリカ

ナピアグラスとも呼ばれます。高さ2m近くになり、黄色い穂がつきます。牧草として植えられたものが野生化しています。増殖することと在来植物と競合するこれが懸念されています。



シロバナセンダングサ

(キク科)

学名: *Bidens pilosa* var. *minor*
原産地: 不明、熱帯に広く分布

高さ50~110cmほどになる一年草です。日本には1844~48年に渡来しました。空き地や道路の脇のいたる場所に生えていて、年間を通して花を咲かせています。



ムラサキカタバミ

(カタバミ科)

学名: *Oxalis corymbosa*
原産地: 南アフリカ

高さ30cmほどになる多年草です。鑑賞用に持ち込まれたものが野生化したと言われています。繁殖力が強く、在来植物を追いやってしまう恐れがあります。畑に入り込むと取り除くのが困難です。



アメリカフウロ

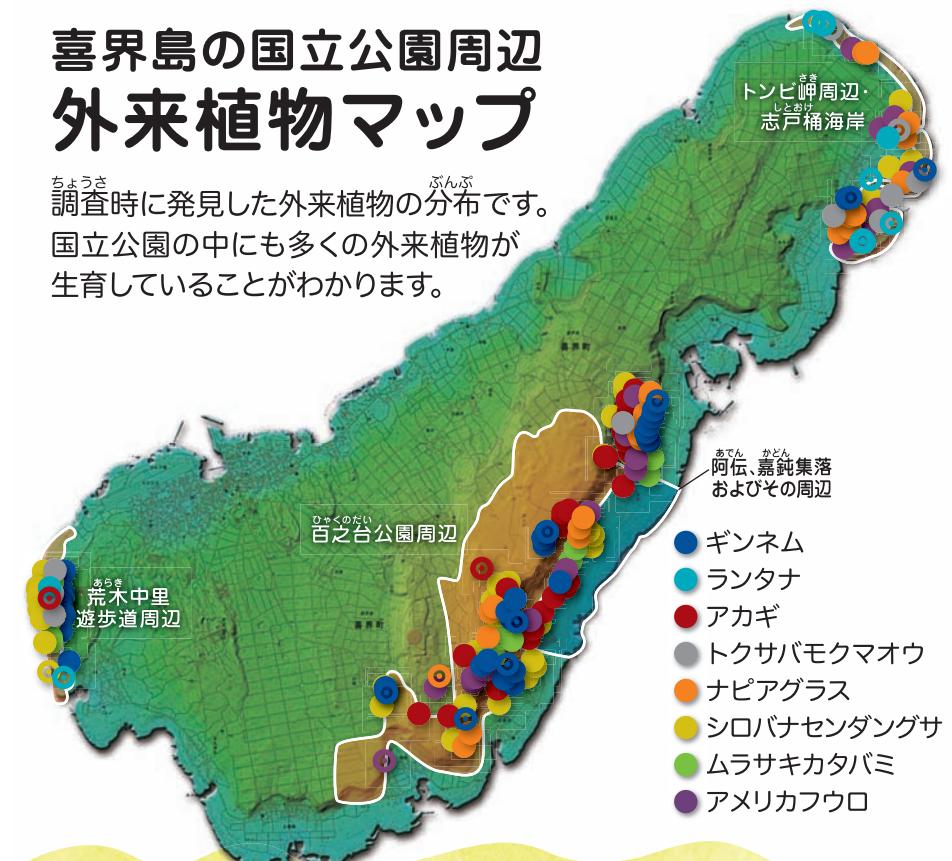
(フウロソウ科)

学名: *Geranium carolinianum*
原産地: 北アフリカ

高さ10~40cmほどになる越年草です。戦後、牧草などに混じって日本に持ち込まれました。全国の道端等によく見られます。

喜界島の国立公園周辺 外来植物マップ

調査時に発見した外来植物の分布です。国立公園の中にも多くの外来植物が生育していることがわかります。



みなさんのお住まいの近くにも外来植物は生育しています。
この冊子を参考に探してみましょう。

喜界島に流れ着く海洋ゴミ

海辺に流れ着く海洋ゴミも、

外からやってくるものの一つです。

海洋ゴミの漂着は、沿岸部の国立公園エリアが抱える問題です。

— 喜界島の国立公園エリアの現状 —



喜界島の国立公園エリアにも海洋ゴミが流れ着き日光で劣化し碎け、マイクロプラスチックになったものがみられます。医療廃棄物など危険なものも流れ着くことがあります。



— マイクロプラスチックってなに? —

海洋に流出したプラスチックが紫外線で劣化し波で砕け5mm以下の小さな破片になったものです。喜界島の砂の中にもマイクロプラスチックが混ざっていました。



この例は、池治海水浴場のものです

浮力を利用して
砂と分ける



バケツ一杯の砂に混じっていた
マイクロプラスチック

※1: 製品に使用するために微小なサイズで製造されたプラスチック。「元々小さかったプラスチック」
※2: プラスチック製品が自然環境の中で劣化し、粉々になることで生じた「マイクロプラスチック」

やくわり ビーチクリーンの役割

海洋ゴミはモンスーンや海流により年中、喜界島に流れ着きます。

私たちにできることは、

少しずつでも無理のない範囲で海洋ゴミを拾うことです。

ビーチクリーンはマイクロプラスチックになる可能性がある海洋ゴミを除去し、自然に与える影響を軽減する目的もあります。



2019年7/27 池治海水浴場



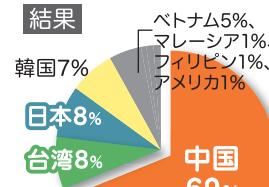
2019年8/31 中里海岸入江



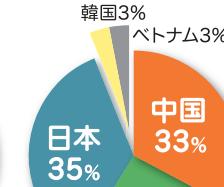
2020年1/19 ハワイビーチ

— ペットボトルの原産国調査 —

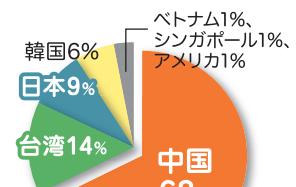
結果



2019年7/27
池治海水浴場



2019年8/31
中里海岸入江



2020年1/19
ハワイビーチ

バーコードの頭3桁から、ペットボトルがどこから流れ着いたのか知ることができます。1番多いのが中国、2番目が台湾から、3番目が日本からの漂着物です。この順番は時期によらずほぼ同じのようです。海を流れて他の国から漂着物が流れてくるということは、私たちが流出させてしまったゴミも海に流れ、他の地域へ流れ着いているということになります。

喜界島の国立公園には、サンゴ礁の恵みからなる豊かな自然があります。
私たちの次の世代へそのバトンを繋ぐために、
1人の一歩が100人の一歩になるよう、考えていきましょう。